

資料－２

第31回 荒川太郎右衛門自然再生協議会
2012年7月21日

生態系モニタリング専門委員会・管理目標ワーキング 活動状況報告

1. 現地視察と会議の開催について

- 平成24年2月に整備した自然再生地を現地確認するために、4月24日に第20回生態系モニタリング専門員会と第7回の管理目標ワーキングの合同現地視察と会議を開催しました。
- 会議では、第30回協議会で承認された委員との合同調査の実施について検討を行い、5月24日にハンノキの育成調査を、6月にミドリシジミ調査を実施することとなりました。これをうけて合同調査の案内を協議会の全員に通知しました。
また、「荒川の自然を守る会」より、上池整備箇所のモニタリング調査を実施することが報告されました。
- 今後は、現地視察の状況を踏まえた、今後の整備内容の検討と、モニタリング調査結果をわかりやすく伝える仕組み・方法について検討を行う予定です。

【 合同現地視察、会議の開催 】

平成24年4月24日

13:00～15:00 現地視察

15:20～17:00 桶川市農業センターにて会議

合同現地視察



視察後の会議



視察日の湿地整備箇所



池が3カ所に分かれて見える状況

視察日の旧流路



池と導水路の水面がある状況

視察日の湿地整備箇所



周辺に草はなく見晴らせる状況

周辺に草はなく見晴らせる状況

視察日のハンノキ移植地



ハンノキの周りに草がない状況

2. 委員によるモニタリング調査の試行について

- 平成24年4月24日の合同会議での検討結果に基づき、5月24日にハンノキ育成調査を実施しました。
 - 6人の協議会委員が参加し、移植したハンノキの高さ、径（胸の高さ）、生育状態（良・不良・枯死）を調査しました。その結果、昨年度移植した33本のハンノキのうち1本の枯死と、残りの32本の成長が確認できました。また、育成試験地では密に植えたハンノキの枯死が確認され、疎に植えたハンノキでは枯死はほとんど確認されませんでした。
 - 10月にもハンノキの調査を行い、今回の調査結果との比較を行う予定です。
- 平成24年6月20日にミドリシジミの調査を計画し案内を出しましたが、台風4号の接近により中止しました。

【ハンノキ育成調査】

平成24年5月24日

13:00~16:00 ハンノキ育成調査

ハンノキ移植地の高さ調査の様子



移植したハンノキの順調な生育が確認できました。
オオブタクサの繁茂が目立ちました。

ハンノキ育成試験地の中の様子



ハンノキ林の中に分け入って調査を実施しました。

ハンノキ育成試験地調査の様子

手前の疎に植えたハンノキは太く、
順調に生育していましたが、奥にあ
る密に植えたハンノキは細長く、背
が低いものに枯死が見られました。

3. 平成24年度のモニタリング調査計画と実施状況について

平成24年度は8月と10月の生物関連の調査が残っています。1月以降は水位と水質の調査となります。



● 荒川上流河川事務所調査
○ 協議会委員との合同調査

項目		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
太郎右衛門地区全体	基礎	地下水位												・連続観測
		水質	●		●		●		●		●		●	・6回調査
	生物	鳥類			●							●		・6月：繁殖期、1月：越冬期
		昆虫類			●		●							・6月：ミドリシジミ・トンボ類等の出現期、8月：多種の確認適期
テーマ	生物												・内容は平成24年度に委員会で検討	
当面の整備対象範囲	上池旧流路	●				●							・エキサイゼリ(春季)、オナモミ(夏季)の確認が可能な春季・夏季に実施する。	
試験施工地	ハンノキ育成試験地	高さ生育状態		○									・5月：生育初期 ・10月：生育末期	
		ミドリシジミ			●								・ミドリシジミの確認適期	
整備地	上池旧流路掘削地	植物相		●			●						・5月：エキサイゼリの確認適期 ・8月：一般的な水生・湿生植物の確認適期	
		鳥類相			●								・繁殖期	
		魚類相		●									・コイ科魚類の産卵期・稚子魚期	
	上池モトクロス場跡地掘削地	植物相		●			●						・5月：エキサイゼリの確認適期 ・8月：一般的な水生・湿生植物の確認適期	
		鳥類相			●								・繁殖期	
	下池ハンノキ移植地	ハンノキ每木		○									・5月：生育初期 ・10月：生育末期	

合同調査

6/20に予定していましたが、台風4号の接近により中止しました。